TIGER

家庭用

品番
（ワンプッシュせん）
MXP-A001
MXP-A002 抗菌加工
MXP-E001 抗菌加工

（スクリューせん）
MXP-B001
MXP-B002 抗菌加工
MXP-F001 抗菌加工

（ストローせん）
MXP-G001 抗菌加工

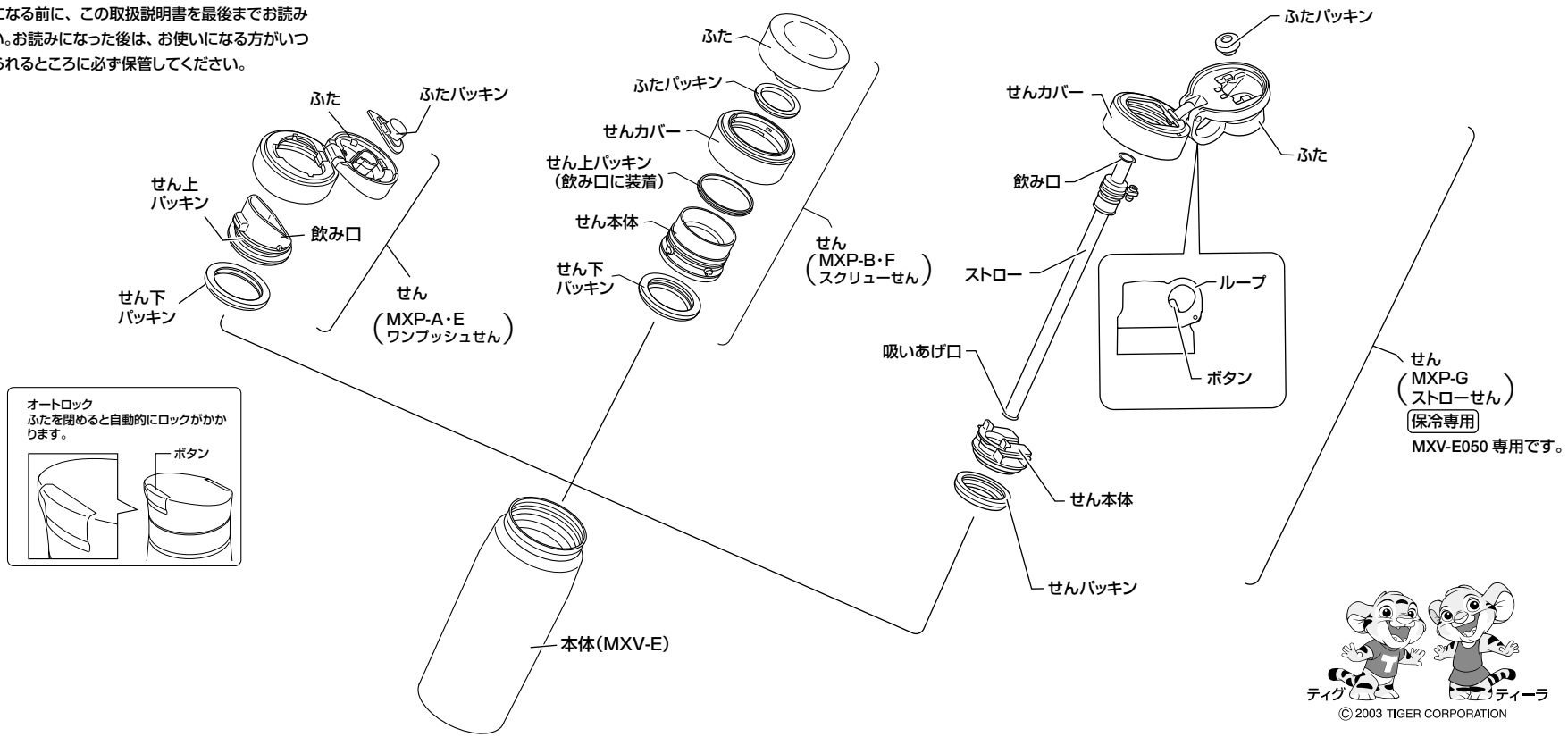
（本体）
MXV-E 型

❶

真空断熱ボトル

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。
本書では特別な場合を除き、MXP-A・E（ワンプッシュせん）のイラストを掲載しています。

ご意見をお寄せください。
https://www.tiger.jp/

安全上のご注意 必ずお守りください。

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です。	⚠注意	傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

乳幼児の手の届くところには置かない。
また、いたずらに注意する。
禁止
やけどやけがなどのおそれ。

【ストローせんの場合】
ストロー部分をくわえながら歩かない。
禁止
転倒などをした際にけがなどのおそれ。

⚠注意

ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。
禁止
本体の内圧が上がり、せんやふたがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、飛散する可能性があり危険。

せんは確実に閉まっていることを確認する。
必ず実施
内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。
禁止
腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、せんやふたがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、飛散する可能性があり危険。

肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。
禁止
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

⚠注意

コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。
禁止
やけど・変形・変色の原因。

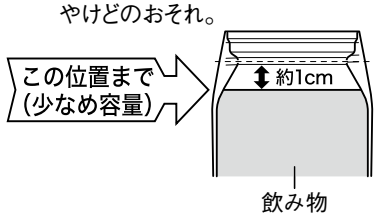
電子レンジで加熱しない。
禁止
火花が飛んで、けが・故障の原因。

熱い飲み物を入れたときは、傾けた状態や顔などを近づけた状態でせんやふたを開けない。
禁止
本体の内圧が上がり、飲み物が急激に出たり、飛散したりして、やけどなどのおそれ。

熱い飲み物を飲むときは、本体を急に傾けないように注意して、ゆっくりと飲む。
必ず実施
急に傾けると、飲み物が急激に出て、やけどなどのおそれ。

自動車走行中は使わない。
禁止
やけど・車内や衣服を汚す原因。
(また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)

飲み物の量は、図の位置までにする。
必ず実施
入れすぎると、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。



保温性能が低下したときは使用しない。
禁止
熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

飲み物の保温・保冷以外に使わない。
禁止

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。
禁止
破損、保温(保冷)効果の低下、サビ、塗装・印刷・メッキはがれ※、内容物がもれるおそれ。
※塗装・印刷・メッキなどの加工のある商品に限る

分解・修理はしない。
禁止
故障や事故の原因。

缶ホルダーを使うとき

缶ホルダーを使うときは、あらかじめ強度を確認してから使う。
必ず実施
強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、やけど・車内や衣服を汚す原因。

市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。
必ず実施
ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、やけど・車内や衣服を汚す原因。

⚠注意

禁止 **冷凍庫に入れない。**
内容物がもれたり、破損のおそれ。

禁止 **お茶の葉・果肉などは入れない。**
目づまりし、もれるおそれ。

必ず実施 **スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

禁止 **みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。**
腐敗・変質・サビのおそれ。

禁止 **かばんや袋に入れたまま放置しない。**
周囲の環境（湿度・塩分）などにより、サビ・においの原因。

必ず実施 **かばんなどに入れるときは、万一のもれを防ぐために、本体を立てて入れる。**
横にするともれるおそれ。

禁止 **本体外側が濡れている状態で、かばんなどに入れない。**
サビ・におい・汚れの原因。

禁止 **塩素系漂白剤は使わない。**
サビ、塗装・印刷・メッキはがれ※、穴があく原因。タイガーステンレスボトル用洗浄剤（別売品）をおすすめします。
※塗装・印刷・メッキなどの加工のある商品に限る

禁止 **本体表面・樹脂部分・シールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。**
傷ついたり、はがれる原因。

禁止 **せんをセットした状態で飲み物を入れない。**
こぼれたり、転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

必ず実施 **飲み口に残った飲み物はふきとる。**
せんを閉めたときにこぼれるおそれ。（ワンプッシュせんの場合）

禁止 **パソコンやデジカメなどの電子機器と一緒に持ち運ばない。**
内容物がもれた場合、破損・故障の原因になるおそれ。

⚠注意

禁止 **本体の底に貼ってあるシールは、はがさない。**
はがすと、保冷性能の低下のおそれ。

必ず実施 **製品専用の部品を取りつける。**
専用の部品以外を取りつけると、内容物がもれて、ものを汚す原因。

禁止 **本体の真空二重構造の内部（真空層）から水が入っている音がする場合は使用しない。**
内部に入った水がしみ出た場合、飲んで体調不良を起こすおそれ。

必ず実施 **パッキンがついていること、飲み物がもれないことを確認してから使用する。**
内容物がもれて、ものを汚す原因。

ストローせんの場合

禁止 **ふたについているループを持って振りまわさない。**
人や物にあたって、けがや破損のおそれ。

禁止 **ふたについているループを持って強い振動や衝撃を与えない。**
せんがゆるんで、本体が落下するおそれ。

禁止 **熱いものを入れない。**
ストローから吹き出て、やけどやものを汚す原因。ストローから飲んでやけどをするおそれ。

必ず実施 **せんを取りつけるときは、ストロー内に飲みものが残っていないことを確認してから取りつける。**
飲みものが残っていると、ふたを開けたときにストローから吹き出て、ものを汚す原因。

必ず実施 **せんを取りはずすときは、本体に飲みものが残っていないことを確認してからはずす。**
飲みものが残っていると、ストロー内にも飲みものが残り、せんをはずしたときにストローから吹きこぼれてものを汚す原因。

使いかた

First! はじめて使うとき

● お手入れする

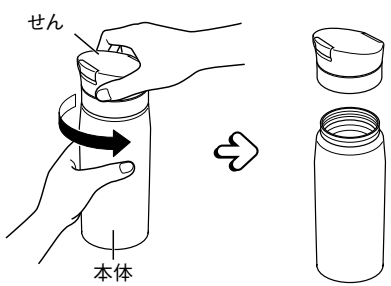
材料特有のにおいがする場合があります。
この場合は以下の手順でお手入れしてください。

①パッキンがついていることを確認する。
②本体に熱湯を入れ、せん、ふたを確実にしめる。
③本体を持って、内側を充分にすすぐ動作を数回くり返す。
（強い振動は加えない。熱湯が吹き出しやけどのおそれ。）
④お湯をすて、各部のお手入れをする。

1

せんをはずす。

● 各部品がついていることを確認する。



2

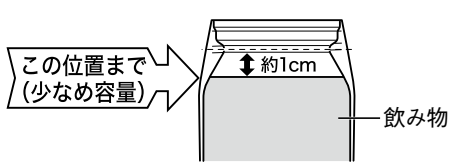
保温（保冷）効果を高めたいときは、少量の熱湯（冷水）を入れ、1～2分予熱（予冷）する。

● 予熱（予冷）後は、お湯（水）をすてる。

3

熱い（冷たい）飲み物を入れる。

● 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
● 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。



4

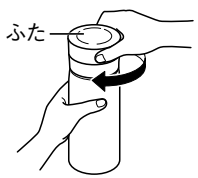
本体を立てた状態にして、せんを閉める。

■ワンプッシュせんの場合

● せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

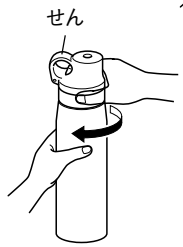
■スクリューせんの場合

● せん本体がせんカバーにしっかりついていることを確認する。
● ふたとせんカバーがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。



■ストローせんの場合

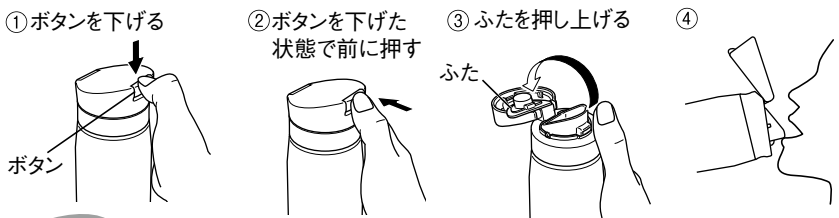
● せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。



5

■ワンプッシュせんの場合

ボタンを押し、ふたを開けて飲む。

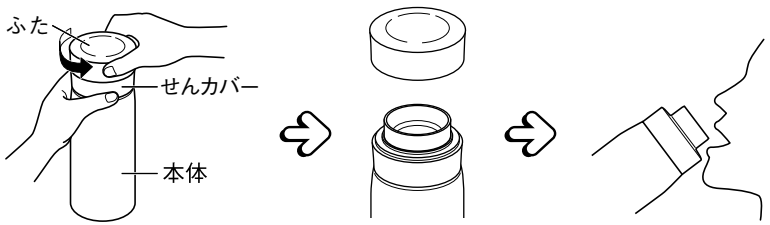


ご注意

● 本体を傾けた状態でボタンを押さない。熱い飲み物が勢いよく出るおそれ。
● 本体に熱い飲み物を入れてせんを閉めた直後は、本体を傾けない。内容物がもれるおそれ。

■スクリューせんの場合

本体とせんカバーを持って、ふたを開けて飲む。

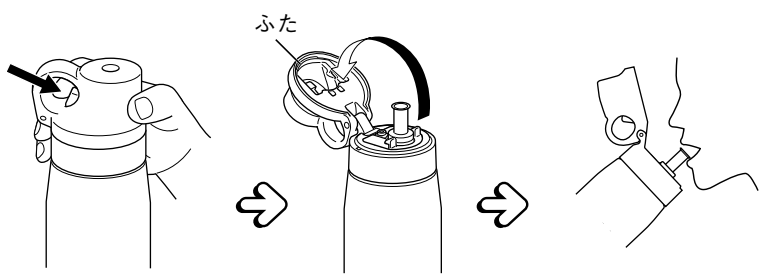


ご注意

- せんカバーをふたと一緒にまわさない。もれるおそれ。

■ストローせんの場合

ボタンを押して、ふたを開けて飲む。



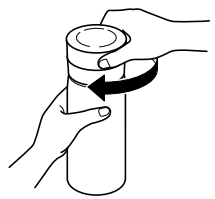
6

■ワンプッシュせんの場合

- 飲み終わったら、本体を立てた状態にして、オートロックが固定されるように、ふたを確実にしめる。

■スクリューせんの場合

- 飲み終わったら、本体を立てた状態にして、ふたを確実にしめる。



■ストローせんの場合

- ふたの天面を押さえて、カチッと音がするまで、確実にしめる。

ご注意

- 持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。ふたが開くおそれ。
- かばんなどに入れるときは、万一のもれを防ぐために本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。
- かばんなどに入れるときは、ボタンにものがあたらない様に注意する。ふたが開くおそれ。（ワンプッシュせんの場合）
- 本体にせんをつける際、せん本体をせんカバーにきっちりはめ込む。（スクリューせんの場合）
- 製品の構造上、湿度が高いときにせんに水滴がつくおそれ。（ストローせんの場合）

お手入れのしかた

◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
◆洗剤は、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
◆においを防ぐために、こまめにお手入れする。

①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。
②乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

ご注意

- 本体およびふたはつけおき洗いをしない。
- 本体を流し洗いした後は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。
- シンナー類・クレンザー・塩素系漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。（パッキンをのぞく）
- 飲み口・パッキン類は必ず取りつける。
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

パッキンににおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがパッキンに付着することがあります。その場合、パッキンを 30 分程度煮沸すると、においが少なくなりますが、それでも気になる場合は別売りのパッキンをお買い求めください。

本体内側に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。
①クエン酸（約 10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
②2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
③充分に乾燥させる。

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。タイガーステンレスボトル用洗浄剤（別売品）のご使用をお勧めします。
お買い求めは、「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。

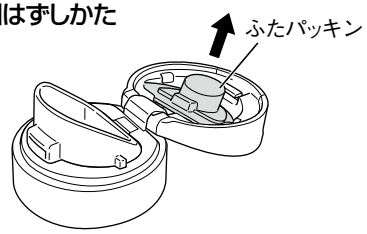
パッキンのはずしかた･つけかた（ワンプッシュせんの場合）

ご注意

- パッキンの取りつけ位置、方向をまちがえないようにする。
  内容物がもれるおそれ。

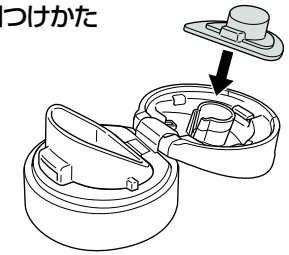
ふたパッキンのはずしかた・つけかた

■はずしかた



ふたパッキンをつまんでゆっくりはずす。

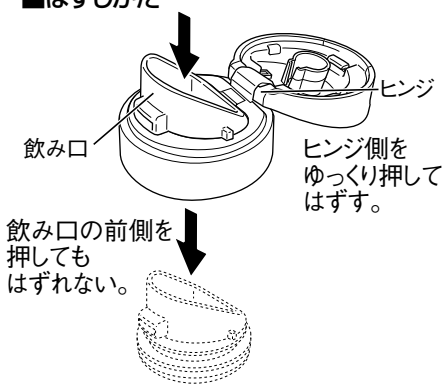
■つけかた



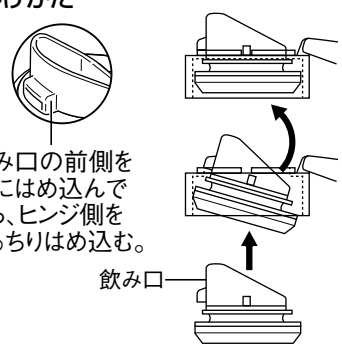
ふたパッキンの取りつけ方向をまちがえないように奥まできっちりはめ込む。

飲み口のはずしかた・つけかた

■はずしかた

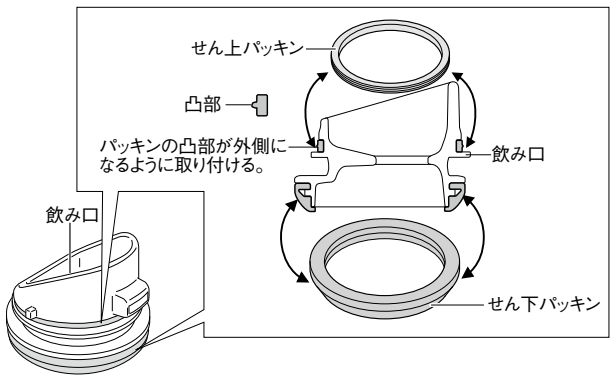


■つけかた



飲み口が固定されていることを確認する。

せんパッキンのはずしかた・つけかた



はずすときは、パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。
つけるときは、パッキンの取りつけ位置や方向をまちがえないようにきっちりはめ込む。

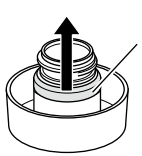
パッキンのつけかた・はずしかた（スクリューせんの場合）

ご注意

●パッキンの取りつけ位置、方向をまちがえないようにする。
内容物がもれるおそれ。

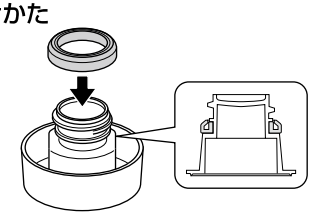
ふたパッキンのはずしかた・つけかた

■はずしかた



ふたパッキンをつまんで
ゆっくりとはずす。

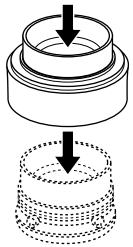
■つけかた



ふたパッキンの取りつけ方向をまちがえ
ないように奥まできっちりはめ込む。

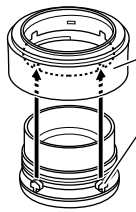
飲み口のはずしかた・つけかた

■はずしかた

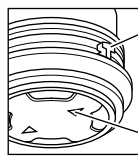


ゆっくりと押して
はずす。

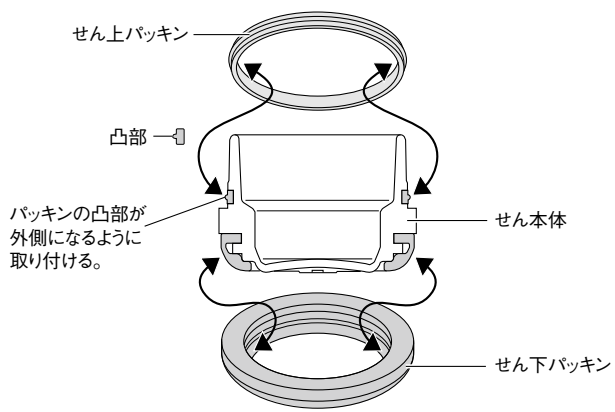
■つけかた



この凸部を、せんカバー
内側の凹部に、押せな
くなる位置まできっちり
はめ込む。



せんパッキンのはずしかた・つけかた



はずすときは、パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。
つけるときは、パッキンの取りつけ位置や方向をまちがえないようにきっちりはめ込む。

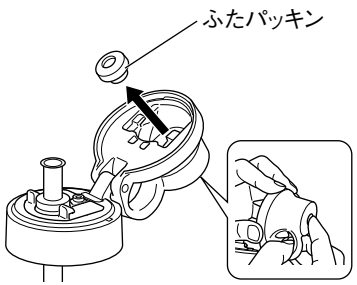
パッキンのつけかた･はずしかた（ストローせんの場合）

ご注意

●パッキンの取りつけ位置、方向をまちがえないようにする。
内容物がもれるおそれ。

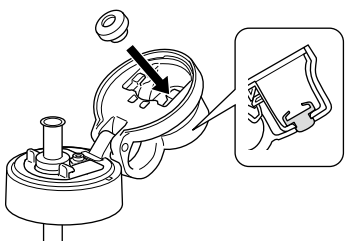
ふたパッキンのはずしかた・つけかた

■はずしかた



ふた外側から指でふたパッキンの外周部分を押してはずす。

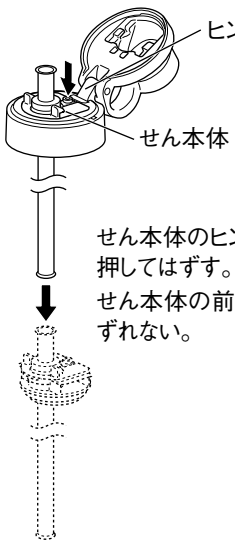
■つけかた



ふたパッキンの取りつけ方向をまちがえないように奥まできっちりはめ込む。

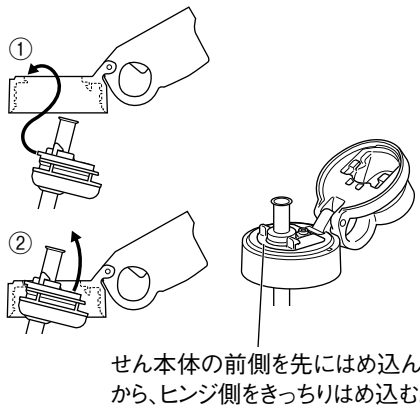
せん本体のはずしかた・つけかた

■はずしかた

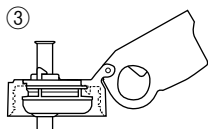


せん本体のヒンジ側をゆっくり押してはずす。
せん本体の前側を押してもはずれない。

■つけかた

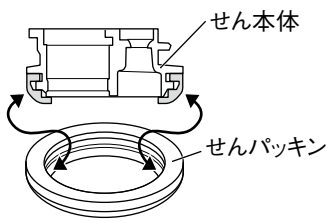


せん本体の前側を先にはめ込んでから、ヒンジ側をきっちりはめ込む。



せん本体が固定されていることを確認する。

せんパッキンのはずしかた・つけかた

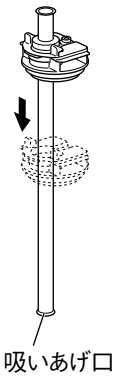


はずすときは、パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。
つけるときは、パッキンの取りつけ位置や方向をまちがえないようにきっちりはめ込む。

ストローのはずしかた・つけかた

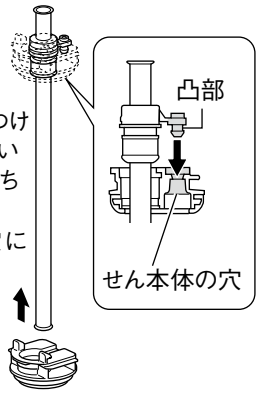
■はずしかた

せん本体をゆっくり押してはずす。



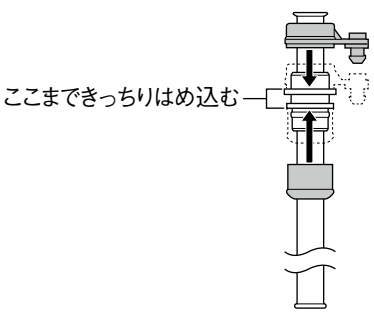
■つけかた

せん本体の取りつけ方向をまちがえないように奥まできっちりはめ込む。
凸部をせんの穴に合わせる。



ご注意

- ストローパッキンは引っぱらない。
  はずれたときは、パッキンの取りつけ位置、方向を間違えないようにきっちりはめ込む。



不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
飲み物がもれる。	飲み口・本体のねじ・せんのねじに飲み物が残っていませんか。	飲み物を確実にふきとる。
	飲み物を入れすぎていませんか。	入れすぎないようにする。➡ P.2・5
	かばんなどに入れて持ち運ぶときに、振動や衝撃を加えたり、他の荷物に押さえつけられると、せんがゆるんだり、ふたがずれてもれるおそれがあります。	
	せんを確実に閉めていますか。	せんを確実に閉める。
	飲み口、パッキンが確実にセットされていますか。	確実にセットする。➡ P.8～10
	せん、ふた、飲み口、パッキンが傷んでいませんか。	これらの部品は消耗品です。お買い求めの上交換してください。➡ 裏表紙
	パッキンの取りつけ位置、方向がまちがっていませんか。	パッキンを正しくセットする。➡ P.8～10
	食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したりしていませんか。(パッキンをのぞく)	
(ワンプッシュせんの場合)ボタンを押してもふたが開かない。	本体の内圧が下がり、ふたが開きにくい場合があります。その場合は、せんをゆるめて、閉め直してください。	
保温(保冷)が効いていない。	落としたり、強い衝撃を与えたりしていませんか。	
	お手入れの際、本体の内側を強く押したり、金属たわし等を使用したりしていませんか。	
	飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。	
	寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。	
本体内側、パッキンやせんから異臭がする。	はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。	「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。➡ P.4
	汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしたりしていませんか。	お手入れをする。➡ P.7～10
	水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。	
本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。	保温(保冷)効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。	
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	

仕様

品番	せん	MXP-A001/002・E001		
	本体	MXV-E035	MXV-E050	MXV-E060
実容量		0.35L	0.50L	0.60L
保温効力	1 時間	85 度以上	86 度以上	87 度以上
	6 時間	63 度以上	69 度以上	72 度以上
保冷効力（6 時間）		9 度以下	8 度以下	8 度以下
外形寸法＊	幅	6.6cm	6.6cm	6.9cm
	奥行	6.6cm	6.6cm	6.9cm
	高さ	18.0cm	23.1cm	24.6cm
質量＊		0.17kg	0.21kg	0.23kg

品番	せん	MXP-B001/002・F001		
	本体	MXV-E035	MXV-E050	MXV-E060
実容量		0.35L	0.50L	0.60L
保温効力	1 時間	85 度以上	86 度以上	87 度以上
	6 時間	65 度以上	71 度以上	73 度以上
保冷効力（6 時間）		9 度以下	8 度以下	8 度以下
外形寸法＊	幅	6.6cm	6.6cm	6.9cm
	奥行	6.6cm	6.6cm	6.9cm
	高さ	17.6cm	22.7cm	24.2cm
質量＊		0.17kg	0.21kg	0.23kg

品番	せん	MXP-G001
	本体	MXV-E050
実容量		0.50L
保冷効力（6 時間）		8 度以下
外形寸法＊	幅	6.6cm
	奥行	7.0cm
	高さ	24.5cm
質量＊		0.23kg

＊ おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから1時間および6時間放置した場合におけるその湯の温度です。
※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。
※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

〈抗菌加工について〉

MXP-A002/B002/E001/F001/G001には銀系（Ag）抗菌加工を施したポリプロピレン樹脂（下記、対象場所に記載の部品）が使用されています。

○試験方法　：JIS Z 2801に基づき抗菌加工を確認済
○対象場所　：MXP-A002,E001　ふた（ボタンは除く）・飲み口
　　MXP-B002,F001　ふた・せんカバー・せん本体
　　MXP-G001　ふた・せんカバー・せん本体
○加工方法　：プラスチックに練り込み加工
○使用抗菌剤: 銀系抗菌剤
○試験結果　：抗菌活性値 2.0以上

消耗品・別売品のお買い求めについて

せんは消耗品です。（熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。）1年を目安にご確認ください。
汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

●お買い上げの販売店
●タイガーお客様ご相談窓口（下記「連絡先」参照）
●消耗品・別売品のご購入専用ホームページ

https://www.tiger-shop.jp/

消耗品・別売品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.11をご覧になりお調べください。
それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名
②品番（本体底面シールに表示）・せんの種類
③製品の状況（できるだけ詳しく）
④購入日また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先　タイガー魔法瓶株式会社

本社
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談　**お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）
0570-011101
有料でご案内させていただいております。
※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
TEL(06)6906-2121
受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）

消耗品・別売品のご購入サイト
https://www.tiger-shop.jp/

ホームページアドレス　https://www.tiger.jp/
※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

TIGER

For household use

MODEL

(One push lid)
MXP-A001
MXP-A002 Antibacterial processed
MXP-E001 Antibacterial processed

(Screw lid)
MXP-B001
MXP-B002 Antibacterial processed
MXP-F001 Antibacterial processed

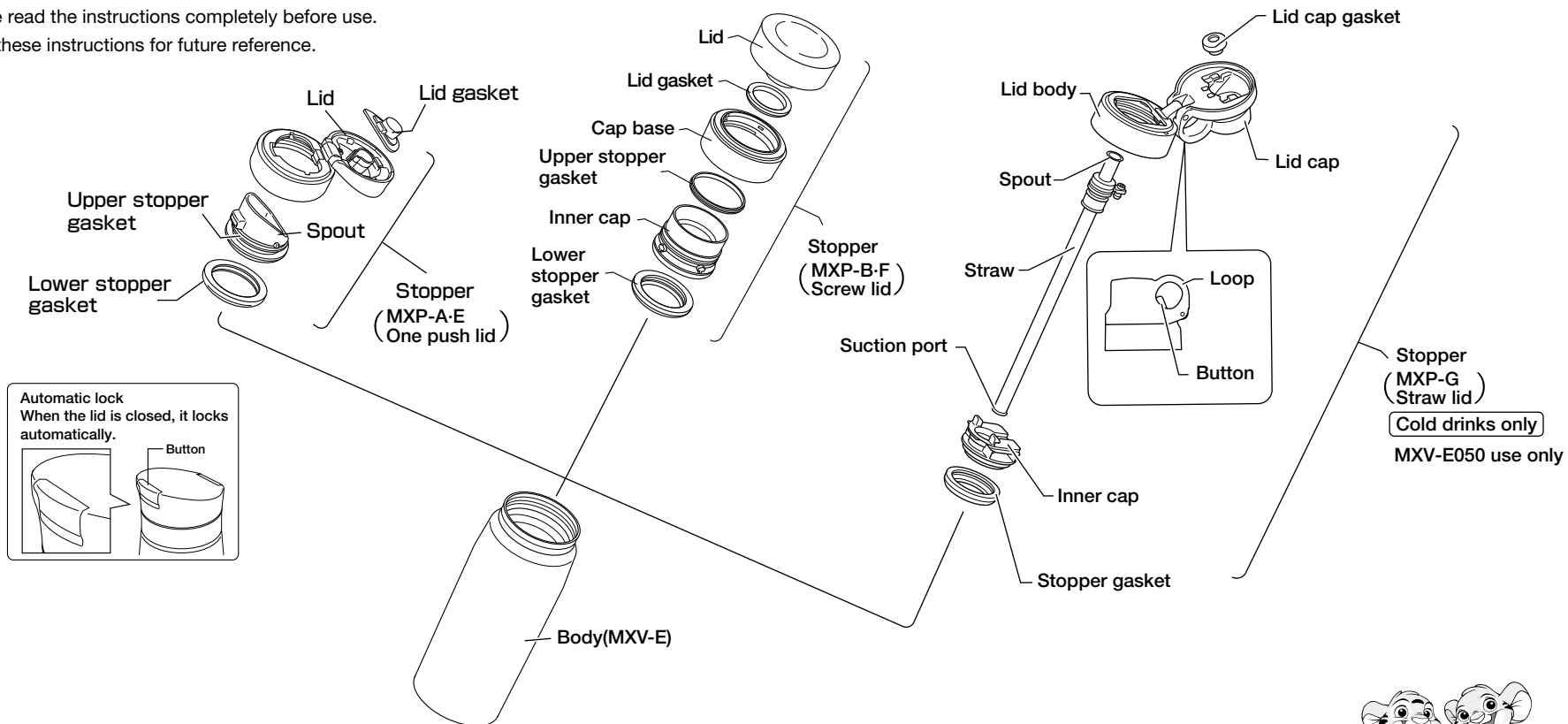
(Straw lid)
MXP-G001 Antibacterial processed

(Body)
MXV-E

Vacuum Insulated Bottle

Instructions

Thank you for purchasing a "TIGER" Vacuum Insulated Bottle.
Please read the instructions completely before use.
Keep these instructions for future reference.



*Make sure that all parts are present before use.
In this instruction manual, illustrations of MXP-A/E (one-push lid) are provided except special cases.

© 2003 TIGER CORPORATION

Safety Precautions

Be sure to follow all instructions.

Do not remove the sticker on the bottom of the product.

- All safety instructions described below are intended to protect the user and other individuals from physical harm and household damage.
- Safety instructions are classified and described according to the level of harm and damage caused by improper use, as shown below.

⚠Warning	This symbol indicates there is a possibility of death or serious injury.	⚠Caution	This symbol indicates there is a possibility of injury or damage to property.

Description of Symbols

This symbol indicates a prohibited action.	This symbol indicates an action that must be taken or an instruction that must be followed.

⚠ Warning

Keep out of reach of children.
Do not let children play with the product.
There is a risk of burns or injuries.

【In case of straw lid】
Do not walk with the straw in your mouth.
There is a risk of injuries if you fall.

⚠ Caution

Do not put dry ice or carbonated beverages in the product.
The air pressure inside the product may increase, causing the stopper and lid to become stuck or prone to shattering, or the parts to be damaged.

Be sure to set the stopper in proper position.
Contents may leak and cause soiling or skin burns.

Do not store milk, dairy products, or certain fruit juices in the product.
The contents may decay or spoil. Long-time spoilage can create gases that raise the air pressure inside the product due to decay or spoil, causing the stopper and lid to become stuck or prone to shattering, or the parts to be damaged, and result in scattering of fragments.

Do not touch the brim of the product with a kettle spout.
The product may fall over, causing burns or injuries to the skin, or a scratch or deformation to the product.

Do not place the product near stoves, open flames, or other sources of extreme heat.
There is a risk of burns or deformation or discoloring of the product.

⚠ Caution

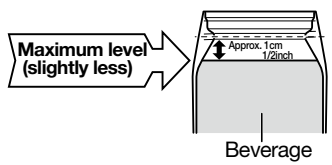
Do not heat the product in a microwave oven.
There is a risk of injury or failure due to sparks.

Do not open the lid if the product is tilted or placed near your face when it contains a hot beverage.
This may cause the internal air pressure of the product to increase and the contents to burst out and scatter, potentially causing burns.

Drink slowly and do not tilt the product abruptly when the product contains a hot beverage.
Do not tilt the product abruptly. This may cause the contents to burst out, potentially causing burns.

Do not use the product in a moving vehicle.
This may result in burns or soiling of clothes or of the interior of the vehicle. (Using the product while you are driving is very dangerous, as you may be distracted.)

Be sure to fill the product with drink below the maximum level shown in the diagram.
If the contents exceed the specified line, they may leak or overflow, potentially causing burns.



Do not use the product if its ability to retain heat declines.
Hot beverages can make the product very hot, potentially causing burns.

Do not use the product for any purpose other than keeping beverages warm or cold for drinking.

Do not knock over, drop or expose the product to excessive shocks.
There is a risk of damage to the product, a reduction of its heat- or cold-retention ability, rusting, paint /printing /plating peeling*, or leakage of contents.
*Limited to products with processing such as painting, printing and plating.

Do not disassemble or attempt to repair the product by yourself.
There is a risk of failure or accident. The contents may leak.

Do not put the product in a freezer.
Contents may leak or the product may be damaged.

Do not store tea leaves or peeled fruit.
They may clog the spout, resulting in leakage of the contents.

⚠ Caution

Be sure to clean the product immediately after use, especially after consuming sports drinks.
Rinse the inside of the product well, even if you are going out, for example, and don't have time to wash it thoroughly. Mold, rust, or holes may appear.

Do not store soups or beverages containing salt in the product.
The product may become decayed, spoiled, or rusted.

Do not leave the product in a bag for a long time.
The storage conditions may change and there is a risk of rust or odors.

Keep the product in an upright position at all times in your bag to avoid leakage.
Contents may leak if the product is laid horizontally.

Do not place the product in a bag if its exterior is wet.
There is a risk of rust, odor, or soiling.

Do not use chlorine-based bleaches.
Causes of rust, paint/printing/plating peeling*, and holes.
*Limited to products with processing such as painting, printing and plating.

Do not scratch or rub the surface of the body, resin parts, or seals with nails or hard objects.
Causes of damage and peeling.

Do not pour the beverage into the bottle while the stopper is set.
The contents may leak or the product may fall over, causing burns or injuries to the skin. The product may also be scratched or deformed.

Be sure to wipe spilled beverage on spout.
The contents may leak when the lid is closed. (In case of one push lid)

Do not carry together with a PC, digital camera, or other electronic device.
If the contents leak, the electronic device may be damaged or malfunction.

Do not remove the caution sticker on the product.
If it is removed, there is a risk of diminished cold-retention performance.

Do not use the product if you can hear the sound of water from inside the vacuum double-layer structure (vacuum layer) of the body.
If water in the vacuum layer seeps out, it may cause health problems if ingested.

⚠ Caution

Install only the parts intended for use with the product.
If any other parts are installed, there is a risk that the contents may leak, causing stains.

Check that the lid cap gasket and stopper gasket are attached and that there is no leakage of the beverage before using the product.
There is a risk that the contents may leak, causing stains.

For can holder

Before using the can holder, check its intensity.
If the holder is not strong enough, it may come off and get damaged. This may result in burns or soiling of clothes or of the interior of the vehicle.

When using a commercially available can holder, use the stationary type.
If the suspension holder that is attached to the window or air conditioning outlet is used, it may come off. This may result in burns or soiling of clothes or of the interior of the vehicle.

In the case of straw lid

Do not wave the product in the air while holding the loop on the lid cap.
The product may hit and injure someone or damage something.

Do not vibrate or create any impact with the product while holding the loop on the lid.
There is a risk of loosening the stopper and dropping the body.

Do not put hot beverages in the product.
Hot beverages may spill over from the straw, and may in turn result in burns and/or spill onto other materials. There is a risk of burns if you drink hot beverages through the straw.

Make sure that there is no residual liquid in the straw before attaching the stopper.
If there is residual liquid, they may splash from the straw when the lid is opened and cause soiling.

Make sure that there is no residual liquid in the body before removing the stopper.
If there is residual liquid in the body and straw, they may splash from the straw when the stopper is removed and cause soiling.

How to Use

Before the first use

● **Cleaning**

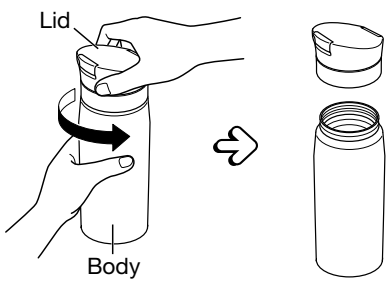
You may notice an unusual odor coming from the material of the product.
In this case, clean the product by following the steps below.

(1) Check the gaskets are attached to the stopper.
(2) Pour hot water into the body and securely close the stopper and lid.
(3) Hold the body and gently shake it several times to rinse the inside thoroughly.
(Do not shake it excessively. The hot water may splash out, potentially causing burns.)
(4) Discard the hot water, and then clean each part.

1

Turn the stopper to remove it.

● Check each part is attached to the stopper.



2

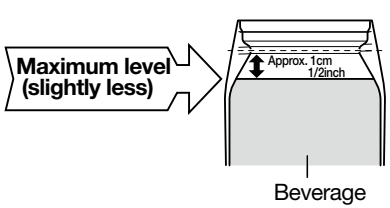
To keep your beverage warm/cool longer, first pour a small amount of hot /cold water into the main body and let it sit for one or twominutes.

● Discard the hot/cold water after preheating/precooling.

3

Pour your hot/cold beverage into the main body.

● Pour appropriate amount of beverages.
● Do not insert large cubes of ice. Use small cubes or crushed ice.

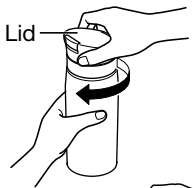


4

Place the main body in an upright position and turn the stopper to close it.

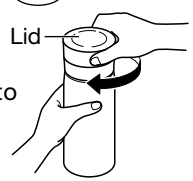
■In case of one push lid

● Turn the stopper as far as it will go to securely close it.



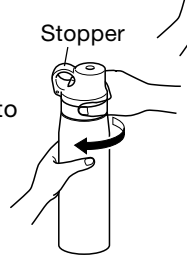
■In case of screw lid

● Check whether the inner cap is firmly fitted the cap base.
● Turn the lid and the cap base as far as it will go to securely close it.



■In case of straw lid

● Turn the stopper as far as it will go to securely close it.

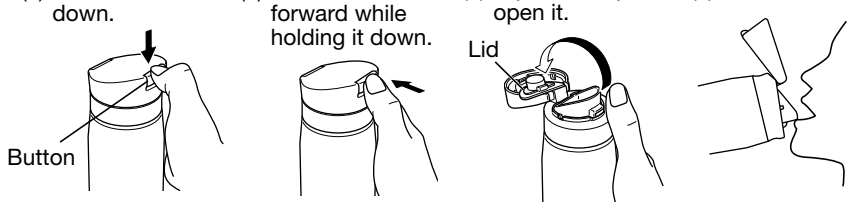


5

■In case of one push lid

Push the button to open the lid, and then drink the beverage.

(1) Slide the button down.
(2) Push the button forward while holding it down.
(3) Flip the lid up to open it.
(4)

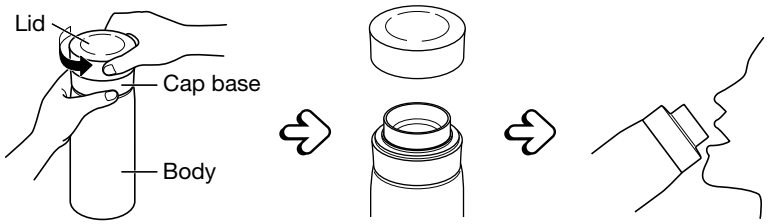


Caution

● Do not push the button while tilting the body. Liquid may splash out of the bottle.
● Do not tilt the body immediately after pouring in a hot beverage and closing the lid. The contents may leak.

■In case of screw lid

Hold the main body and cap base, and turn the lid to drink your beverage.

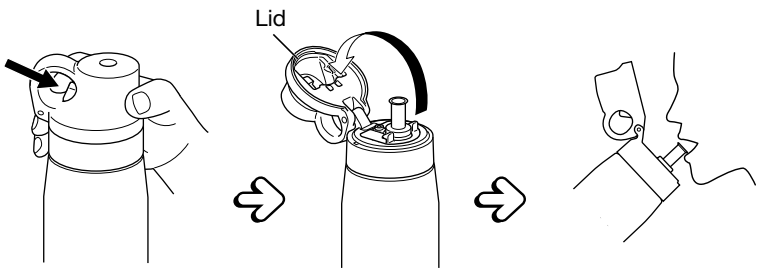


Caution

- Do not screw the lid without tightening the cap base. Otherwise the cap base will be loose and will cause leaking.

■In case of straw lid

Push the button to open the lid cap, and then drink the beverage.



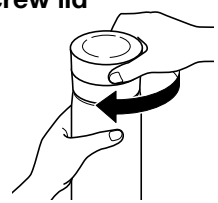
6

After drinking the beverage, keep the product in an upright position and securely close the lid.

■In case of one push lid

- Securely close the lid to fix the automatic lock.

■In case of screw lid



■In case of straw lid

- When closing the lid cap tightly, press and hold the top of the lid cap until you hear a click.

Caution

- Make sure the product does not suffer any strong impact while carrying it.The lid may open.
- If you place the product in a bag, make sure it is upright to prevent any accidental leakage. The product may leak if you place it on its side.
- If you place the product in a bag, make sure the button keeps away from bag contents. The lid may open. (In case of one push lid)
- Make sure the inner cap is completely tightened to the cap base. (In case of screw lid)
- Due to its structure, when the humidity is high, water droplets may form on the cap unit. (In case of straw lid)

The product rattles when shaken.

This is caused by a metal sheet moving inside the product that is used for boosting heat retention.

How to Clean

◆ Clean the product on the same day after every use.
◆ Use mild kitchen detergent (for table or cookware).
◆ Use a soft sponge or cloth.
◆ Clean the product thoroughly to prevent any odor.

(1)Wash each part using a sponge with diluted detergent water or lukewarm water, and then thoroughly rinse it with water.
(2)Wipe the water off with a dry cloth and dry the parts thoroughly.

Caution

● Do not soak the body and lid when washing them.

- ●After washing the whole body, immediately use a dry cloth to wipe off the moisture on its outer surface. Not wiping off all droplets could leave water stains or cause rust and other marks.
- ●Do not use thinners, cleansers, bleaches, cleaning wipes, metallic scrubbing brushes, or nylon scrubbing brushes.
- ●Do not use a dishwasher or dish dryer, and do not wash with boiling water. (Except gasket)
- ●Be sure to attach the gaskets and spout.
- ●Dry the body and lid completely after removing stains when not in use for a long time.

If an odor remains on the gasket

Depending on the contents, the odor may remain on the gasket. In this case, leave the gasket in boiling water for approximately 30 minutes to reduce the odor. If the odor is still noticeable, purchase a new gasket (sold as an optional part).

If marks start to become visible on the inside of the main body

For red, rust-like spots or rough areas

Such staining can be caused by minerals in water, such as calcium, magnesium, and iron. It is recommended to clean them with citric acid, which is available at supermarkets and drug stores.
(1) Dilute the citric acid (approximately 10 g) in lukewarm water, and then pour it into the main body.
(2) After a few hours have elapsed, wash the main body with a soft brush and then thoroughly rinse it.
(3) Dry the main body completely.
Note: Do not use detergents for other brands' pots or insulated bottles. The gasket may be broken.

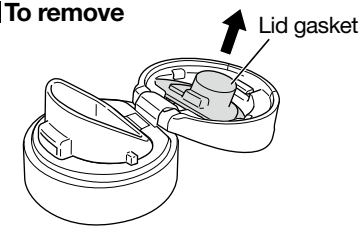
Attaching and Removing the gasket (In case of one push lid)

Caution

●Do not attach the gasket in the incorrect place or direction. The contents may leak.

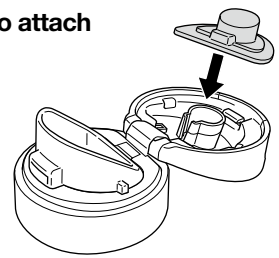
Attaching and Removing the lid gasket

■To remove



Slowly remove the lid gasket while holding and turning it.

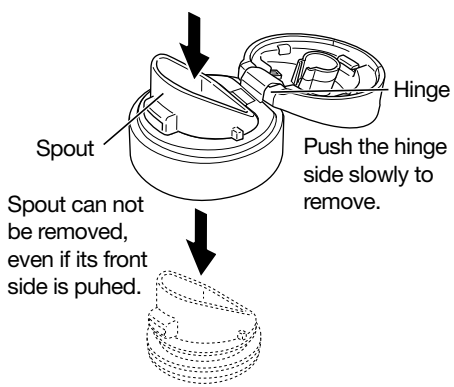
■To attach



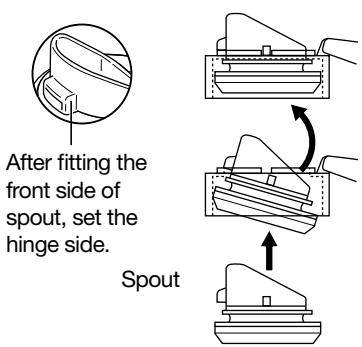
When attaching the lid gasket, make sure to fit it completely in the proper direction.

Attaching and Removing the spout

■To remove

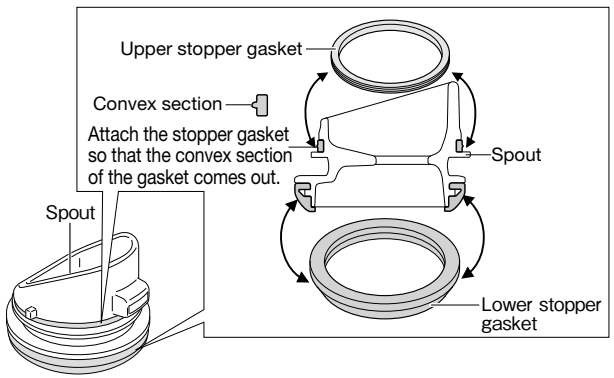


■To attach



Make sure the spout is fixed.

Attaching and removing the stopper gasket



Slowly remove the stopper gasket while holding its edge.
When attaching the stopper gasket, make sure to fit it completely in the proper direction.

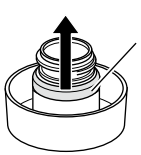
Attaching and Removing the gasket (In case of screw lid)

Caution

●Do not attach the gasket in the incorrect place or direction. The contents may leak.

Attaching and Removing the lid gasket

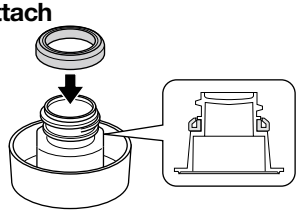
■To remove



Lid gasket

Slowly remove the lid gasket while holding and turning it.

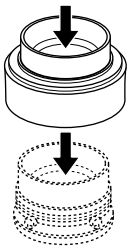
■To attach



When attaching the lid gasket, make sure to fit it completely in the proper direction.

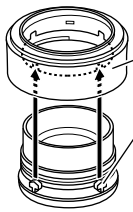
How to remove and attach the inner cap

■To remove



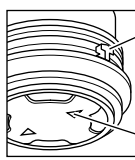
Push slowly and remove the innner cap.

■To attach



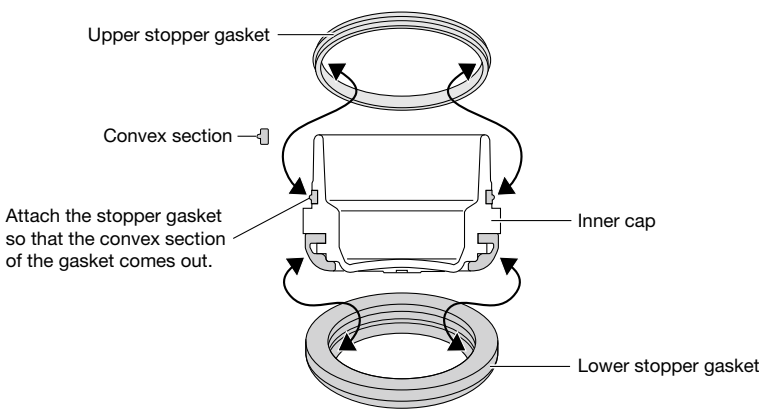
A tab space

A tab
Make sure to fit the tabs to tab spaces on cap base securely.



A tab
There is a mark "△" on the inner cap in the same position as the tabs.
Mark "△ "

Attaching and removing the stopper gasket



Slowly remove the stopper gasket while holding its edge.
When attaching the stopper gasket, make sure to fit it completely in the proper direction.

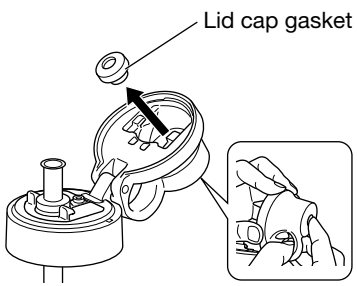
How to remove and attach the gasket (In case of straw lid)

Caution

- Do not attach the gasket in the incorrect place or direction. The contents may leak.

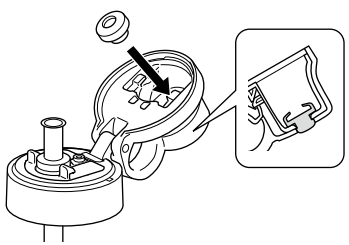
How to remove and attach the lid cap gasket

■ How to remove



Using a finger, press the outer section of the lid cap gasket from the outside of the lid, and remove it.

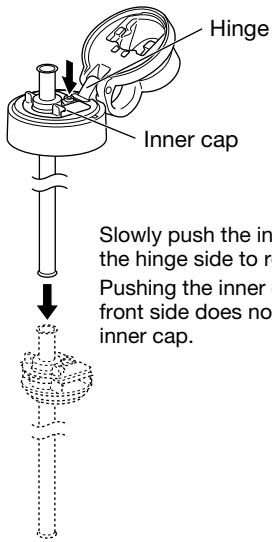
■ How to attach



When attaching the lid cap gasket, make sure to fit it completely in the proper direction.

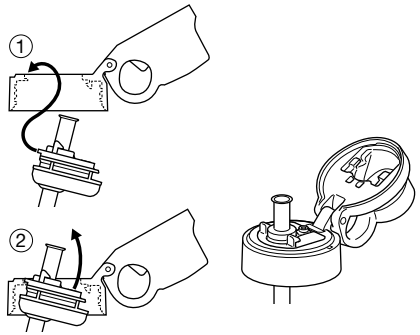
How to remove and attach the inner cap

■ How to remove

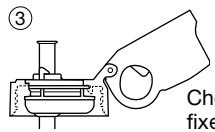


Slowly push the inner cap on the hinge side to remove it.
Pushing the inner cap on the front side does not remove the inner cap.

■ How to attach

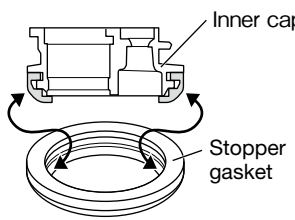


Fit in the inner cap on the front side first, and then the hinge side completely.



Check that the inner cap is fixed in position.

How to remove and attach the stopper gasket

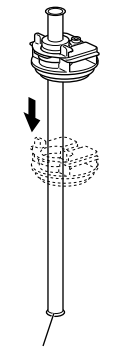


Slowly remove the stopper gasket while holding its edge.
When attaching the stopper gasket, make sure to fit it completely in the proper direction.

How to remove and attach the straw

■ How to remove

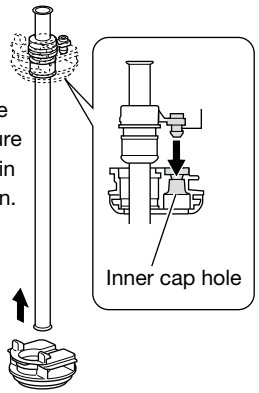
Slowly push the inner cap so that the straw is removed.



Suction port

■ How to attach

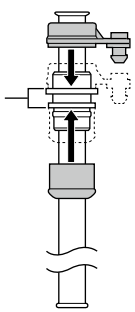
When attaching the inner cap, make sure to fit it completely in the proper direction. Align the convex section with the inner cap hole.



Inner cap hole

Caution

●Do not pull the straw gaskets.
If the gaskets are detached, fit them securely in the proper directions.



Specifications

Model No.	Lid	MXP-A001/002·E001		
	Body	MXV-E035	MXV-E050	MXV-E060
Capacity		0.35 L / 11.8 oz	0.50 L / 16.9 oz	0.60 L / 20.3 oz
Heat retention	(1 hour)	Greater than 85°C / 185°F	Greater than 86°C / 186°F	Greater than 87°C / 188°F
	(6 hours)	Greater than 63°C / 145°F	Greater than 69°C / 156°F	Greater than 72°C / 161°F
Cold retention (6 hours)		Less than 9°C / 49°F	Less than 8°C / 47°F	Less than 8°C / 47°F
Size*		W 6.6 x D 6.6 x H 18.0 cm W 2.60 x D 2.60 x H 7.09 inch	W 6.6 x D 6.6 x H 23.1 cm W 2.60 x D 2.60 x H 9.09 inch	W 6.9 x D 6.9 x H 24.6 cm W 2.72 x D 2.72 x H 9.69 inch
Weight*		0.17kg / 0.37 lbs	0.21kg / 0.46 lbs	0.23kg / 0.51 lbs

Model No.	Lid	MXP-B001/002·F001		
	Body	MXV-E035	MXV-E050	MXV-E060
Capacity		0.35 L / 11.8 oz	0.50 L / 16.9 oz	0.60 L / 20.3 oz
Heat retention	(1 hour)	Greater than 85°C / 185°F	Greater than 86°C / 186°F	Greater than 87°C / 188°F
	(6 hours)	Greater than 65°C / 149°F	Greater than 71°C / 159°F	Greater than 73°C / 163°F
Cold retention (6 hours)		Less than 9°C / 49°F	Less than 8°C / 47°F	Less than 8°C / 47°F
Size*		W 6.6 x D 6.6 x H 17.6 cm W 2.60 x D 2.60 x H 6.93 inch	W 6.6 x D 6.6 x H 22.7 cm W 2.60 x D 2.60 x H 8.94 inch	W 6.9 x D 6.9 x H 24.2 cm W 2.72 x D 2.72 x H 9.53 inch
Weight*		0.17kg / 0.37 lbs	0.21kg / 0.46 lbs	0.23kg / 0.51 lbs

Model No.	Lid	MXP-G001
	Body	MXV-E050
Capacity		0.50 L / 16.9 oz
Cold retention (6 hours)		Less than 8°C / 47°F
Size*		W 6.6 x D 7.0 x H 24.5 cm W 2.60 x D 2.76 x H 9.65 inch
Weight*		0.23kg / 0.51 lbs

*Approximate value

* Heat retention has been calculated under the condition of adding hot water at 95°C ±1°C / 203°F±2°F and leaving it in a room temperature of 20°C±2°C / 68°F±4°F for 1hour or 6hours.
* Cold retention has been calculated under the condition of adding cold water at 4°C ±1°C / 39°F±2°F and leaving it in a room temperature of 20°C±2°C / 68°F±4°F for 6hours.
* Capacity is the actual volume of water that can be stored in the product when the stopper is closed. This is not the “Maximum level” volume described in “Safety Precautions”.

<About antibacterial processed>

MXP-A002/B002/E001/F001/G001 uses silver-antibacterial processed polypropylene resin (the parts listed below at the subject area).

○Testing method : The material meets JIS Z 2801,test for antimicrobial activity and efficacy

○Subject area : MXP-A002,E001 Lid（excluding Button）·Spout
MXP-B002,F001 Lid·Cap base･Inner cap
MXP-G001 Lid cap･Lid body･Inner cap

○Processing method: Kneading into plastic

○Ingredient material: Ag inorganic antibacterial agent

○Testing result: Antibacterial activity value 2.0 and more

Replacing and Purchasing Consumable Parts

The gasket and stopper are consumable parts. Check once a year for damage/deterioration. If heavily stained or loose, replace them.
For replacement parts, contact customer service or the shop where you purchased this product.

Before Contacting Customer Service

The utmost measures have been taken to ensure the quality of this product. However, should the product be defective, contact your dealer and provide the following information.

1. Product name
2. Model number (bottom of the product) ･ Type of stopper
3. Description of trouble (As detailed as possible)
4. Purchase date

Feel free to send any questions or comments about this product to the shop where you purchased it.

※For the purpose of performance improvement, designs, specifications and parts shown in this publication are subject to change without notice.

TIGER

TIGER CORPORATION
Head Office: 3-1 Hayami-cho, Kadoma City, Osaka 571-8571, Japan